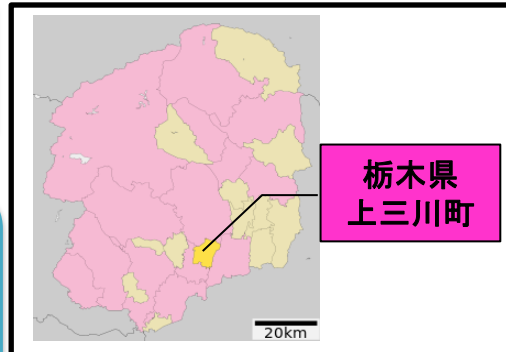


平成30年度 上三川町地域公共交通会議（栃木県上三川町） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通の現況

本町は、下野市と接する行政界西側にJR宇都宮線が南北に縦断し、JR石橋駅が近接する。また、民間会社の路線バスが5路線存在する。平成27年度国勢調査（平成27年10月1日時点、確定値）の高齢化率は20.4%と栃木県内で最も低い。急速な少子高齢化の進展や人口の減少、マイカーの利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持継続が困難な状況が生じている。



事業の目的・必要性

マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。

今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。

このような中、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。

事業の概要

地域公共交通を確保・維持する取り組みとして、町内に終点がある路線バスを「地域間幹線系統」として、これに接続させる形で事前予約型・区域運行のデマンド交通を運行している。

実証運行期間 : 平成25年3月1日～平成28年3月31日

本格運行 : 平成28年4月1日～

【デマンド交通「かみたん号」】（～平成28年3月31日）

事業者名：関東交通株式会社

運行区域：上三川町全域及び指定町外9施設

運行日：月曜～金曜（土日、祝日、年末年始運休）

運行時間帯：8時～17時

運行本数：9便／日（1時間1便）

運行車両：2台

運賃：大人（中学生以上） 町内200円、町外300円

小学生 一律100円

未就学児 無料

【デマンド交通「かみたん号」】（平成28年4月1日～）

事業者名：関東交通株式会社

運行区域：上三川町全域及び指定町外9施設

運行日：月曜～金曜（土日、祝日、年末年始運休）

運行時間帯：8時～17時

運行本数：9便／日（1時間1便）

運行車両：3台

運賃：大人（中学生以上） 町内300円、町外450円

小学生 一律150円

未就学児 無料

面積	54.39km ²	
人口（H30.1.1時点）	31,221人	
	15歳未満	4,279人
	65歳以上	7,038人
高齢化率	22.54%	
世帯数	11,688世帯	

協議会開催状況

上三川町地域公共交通活性化協議会の開催状況

・第1回（平成30年4月27日）

地域公共交通網形成計画策定について 等

・第2回（平成30年6月22日）

地域内フィーダー系統確保維持計画策定（平成31年度計画）、デマンド交通おためし利用券の導入について 等

・第3回（平成30年8月30日）

地域公共交通網形成計画決定について 等

・第4回（平成31年1月25日）

事業評価について、県内小学生向け副読本について 等

前回の事業評価結果の反映状況

- 前回の事業評価結果に基づき、以下の点を事業に反映させた。
- ・持続可能な交通を確立するため、次期運行契約時の仕様について、利便性向上による収入増加だけでなく費用の見直しも含めた、より収支率に着目した仕様となるよう内部での協議を進めている。
- ・地域の要望に応えるため、現在のデマンド交通では直接向かうことの出来ない施設への移動手段について、近隣市町と連携して各市町の既存デマンド交通の相互利用について検討を進めている。
- ・昨年度から実施した期間限定お試し利用券の配布による利用促進は対象範囲を中学生まで広げ、(小・中学生、敬老会配布)新規利用者・登録者だけでなく、再利用者の促進に繋がった。(H29: 小学生12名、高齢者28名⇒H30: 小学生11名、中学生7名、高齢者38名)
- ・町ホームページの更新に併せ、デマンド交通の乗り方をイラストで説明するページを作成し、分かりやすさ向上に繋がった。
- ・来庁及びFAXのみであった利用登録方法に電話による利用登録を追加し、利用までのハードルを下げ利用促進を図った。

定量的な目標・効果

- 【目標】
- ①高齢者等の通院のための移動手段を確保する。
 - ②高齢者等の買い物のための移動手段を確保する。
 - ③町内の地域公共交通サービスの平準化による交通不便地域を解消する。
 - ④町内はもとより、隣接する市の病院や商業施設等への移動手段を確保する。
 - ⑤一日あたり75人分の移動手段を確保する。
- 【効果】
- 本事業の実施により、次のような効果が期待できる。
- ①町民が広く「デマンド交通」を利用することによる公共交通の利用者数の増加と運賃収入の増加。
 - ②自動車を利用出来ない高齢者等が必要とする公共交通サービスの継続的な提供。
 - ③高齢者等の外出機会の増加と社会参加や交流の促進、並びに「引きこもり」の減少や身体的、精神的な健康の維持・増進。

目標効果の達成状況

【上三川町デマンド交通】

利用者数: 14, 234人(平成29年度13, 635人) 運行日数: 244日

平均利用人数: 58. 3人/日(H29. 10~H30. 9)

- ・利用者数は、平成29年度の55. 9人/日から2. 4人/日増となった。稼働率の悪かった午後3~4時を狙った小中学生向けの利用促進等により、一定の効果が見られたが、目標の75人/日を達成できなかった。引き続き月ベース・時間ベースで分析を行い、稼働率が悪い月や時間帯の活用方法を改善するため、ターゲットを絞った施策を実施する。

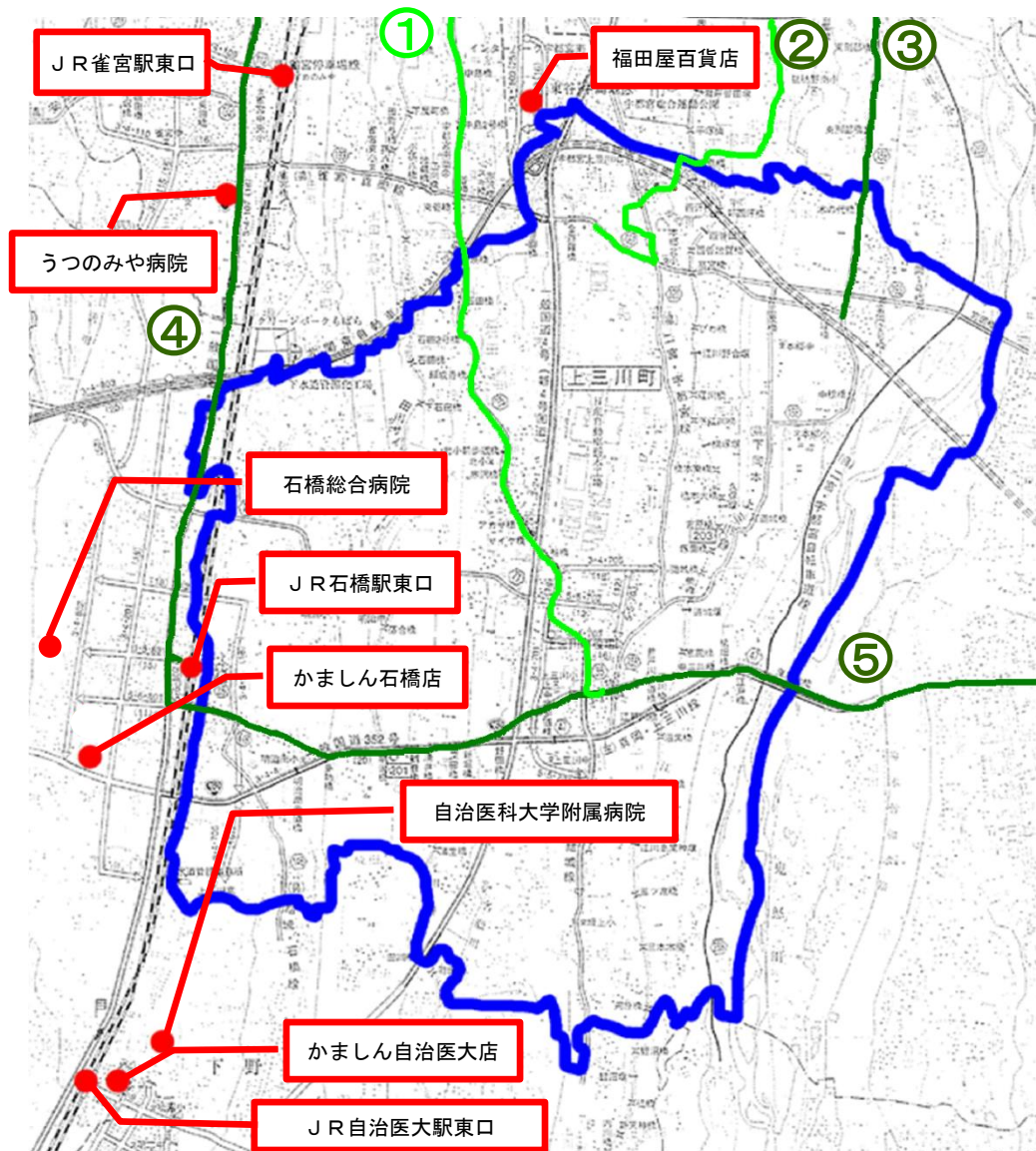
アピールポイント

- ・低廉な料金かつドア・トゥ・ドアのフルデマンドで運行することにより、高齢者等の経済的負担、移動の負担を軽減し、交通不便地域を解消している。
- ・町内全区域だけでなく、町民アンケートで要望の高かった町外の病院、駅、商業施設を運行区域に反映させており、移動の利便性を高めている。
- ・地域の企業が車内広告を掲載することにより、地域経済の活性化が期待できる。

今後の改善点

- ・利用者増加のために、混雑時間帯(お断りが多く発生する時間帯)の運行方法改善に向けて検討を進める。
- ・年末年始や大型連休など通常と予約が異なる期間の周知を目立つよう実施し、期間前後の利用者減少しないよう対策を実施する。併せて、デマンド交通のPRにも繋げる。
- ・広報やホームページでの一方的な周知だけでなく、各地域で開催されるイベントで時間をもらい、その場でデマンド交通利用に対する疑問や不安が解消できるよう、今後も出張登録申請受付や出前講座を開催する。
- ・さらなる広告収入の確保により、収支率が向上させるため、今後も広告の確保に努める。
- ・アンケート内容を見直し、利用者の意見をさらに深掘りすることで、より良い事業内容の見直しを行なう。

上三川町デマンド交通運行区域



【凡例】

- 行政区域境（区域内を運行）
- 系統（国庫補助対象路線）
 - ① 関東自動車（駒生営業所～上三川車庫）
 - ② 関東自動車（駒生営業所～本郷台西汗）
- 系統
 - ③ 関東自動車（駒生営業所～東汗）
 - ④ 関東自動車（JR宇都宮駅～JR石橋駅）
 - ⑤ 関東自動車（JR石橋駅～真岡車庫）

区間運行場所（×9）

- うつのみや病院
- 石橋総合病院
- 自治医科大学付属病院
- 福田屋百貨店（FKDインターパーク店）
- スーパーマーケットかましん石橋店
- スーパーマーケットかましん自治医大店
- JR雀宮駅東口
- JR石橋駅東口
- JR自治医大駅東口

【利用実績】

H29.10	1,241人	H30.4	1,195人
H29.11	1,156人	H30.5	1,203人
H29.12	1,180人	H30.6	1,248人
H30.1	976人	H30.7	1,222人
H30.2	1,125人	H30.8	1,315人
H30.3	1,267人	H30.9	1,106人

合計 14,234人